

2013年度 後期		リフレクションペーパー					
学科名	電気通信工学科						
科目名	組込みシステム						
科目区分	専門科目	単位数	2単位	開講時期	3年後期		
必修・選択の別	必修科目(組込みシステムコース)／選択科目(電気エネルギーコース)／必修科目(情報システムコース)						
担当者	松崎 隆哲						
授業の到達目標(シラバスから)	<ul style="list-style-type: none"> ・組込みシステムの基本的な構成要素を理解する。(A8,B5,B6,B7,C2,C3) ・組込みシステムにおけるハードウェアとオペレーティングシステムの役割を理解する。(A8,B4,B7) ・プロセスの状態やスケジューリング手法について理解し説明することができる。(B6,C2,C3) ・例外・割り込み処理について理解する。(B6,C2,C3) 						
日程と内容	9/17 導入講義、組込みシステムとは？ 9/24 組込みシステムの現状と利用範囲 10/1 組込みシステムのソフトウェアとは 10/8 組込みシステムのソフトウェアの分類 10/15 プログラム管理(マルチタスク) 10/22 プロセス管理(プロセス、スケジュール) 10/29 プロセス間通信(セマフォ、排他制御) 11/12 例外と割り込み処理(ハードウェア機能) 11/19 例外と割り込み処理(OS機能) 11/26 メモリ管理機構 12/3 メモリ管理機構(仮想記憶) 12/10 開始・終了と障害対処 12/17 プロセッサ周辺インターフェース 12/24 総合演習 1/14 定期試験 1/21 総合演習						
成績評価基準	定期試験	70%	実技				
	臨時試験		部外評価				
	報告書・レポート		プレゼンテーション				
	課題		計	100%			
	演習	30%					
授業到達目標の達成度	授業内容に関して、いずれの到達目標に対しても概ね達成できた。						
反省点	コンピュータの実例や演習を多めにする事で、授業内容を理解しやすくなったようであるが、合格につながっていないのが反省点である。						
来年度の計画	今年度と同様に演習や実例を用いた説明を多くすることで、授業内容を理解しやすくするとともに、演習課題のパターンを増やすことで、より授業内容の理解度を高めるようにしたい。						
授業評価アンケートに対するコメント	総合評価は8.6点であり、学生はおおむね満足していたと思われる。今年度は、前年度からの反省点として、コンピュータの動作について実例を使って示すことや演習を多くした。これにより、「授業の内容は理解できましたか」が4.2点と前年度の3.8点から上昇し、学生は授業内容をある程度理解できたようであり、これが総合評価を上げた要因と思われる。ただ、実際の合格率は減少していることが反省点である。						
履修登録者数	34名	定期試験 受験者数	28名	合格者数	17名	合格率	61%